

アマダイ通信NO. 72b

(Tile fish network letter)

09年 目に青葉映え

知人・友人各位

今年も桜の花を楽しめましたでしょうか？去年はスキーで肉離れを起し、不自由な花見でしたが、今年はスキーも花も楽しむことができました。ステージⅢb（殆ど治癒する見込みなし）の大腸癌を手術して六年、嬉しいことです。

どこまで走っても千円という掛け声の高速でスキーに行きましたが、所沢から水上まで千円では行けず、道路も混まず。高速だけ安くても不景気で遠出は無理ということ？交通体系など考えない、選挙目当ての場当たり政策よりは、無料のフリーウェイにし、代わりに炭素税やバージン TAX 等、化石資源使用税を賦課、地球環境に負荷の少ない、資源節約型の交通体系を作り、併せて社会保障の財源等も確保するのは如何でしょう？

◎当たり年！？大阪新駅ビルのカーテンウォール全量受注！

正月早々、利根川源流近くの宝台樹スキー場での初滑りの帰り、貰い事故に会う。ベンチャービジネスのおが屑パレットの大当たりを予感したのですが、一足先に従来ビジネスの、情報仲介業で大ヒット。三越が核テナントとして入居予定の、大阪梅田の新北ビル（大阪駅ビル、総工費1500億円、地上28階、延床面積20万平米、H23年春オープン）のコンクリート製外壁パネル（PCカーテンウォール）全量、3370ピースの製造・取付を、顧問先の高橋カーテンウォールが10億円超の金額で元請の大林組より受注する。名古屋駅ビルのセントラルタワーズと同程度の金額だが、これまで最高の受注金額。床面積50万平米超の超巨大な名古屋駅ビルの場合は、高橋一社では製造しきれず、全体の三分の一程度の受注だった。これだけの規模のビルの外壁を全量受注するのは初めてだ。

40代半ば過ぎて高橋で営業に回された頃、床面積21万平米と、大阪新駅ビルと同程度の京都駅ビルの外壁も頂いたが、全体の十分の一。高橋も関西に進出した頃の頃で、三鷹寮先輩の南谷JR西日本専務（現相談役、元社長・会長）等、沢山の関係者の応援を頂く。今回も池田さん（現大阪駅ビル開発社長）、近藤さん、河内さん、赤星さんと、四代のJR西日本の建設工事部長を初め、沢山の方々に長年お世話になり、ありがとうございました。

新北ビルの外壁工事は、時節柄値段も厳しく、デザインも難しく、線路際の工事ということもあり、色々な意味で難工事だ。高橋はトップメーカーとしての力を発揮、大阪のランドマークの素晴らしい「素肌」を作って欲しい。滋賀工場で作ったベージュの綺麗な外壁が2月末から鉄骨躯体に張付き始めた。年明けには「食い倒れ人形」に替わる？大阪名物の「素肌美人」がその全容をみせるでしょう。大阪駅を通る時見てやって下さい！

大阪駅前ではこれからも日本郵政とJRの共同ビル、北ヤードの再開発ビルと大型案件が続く。名古屋駅前でも日本郵政とJR、名鉄の共同ビル、デパートの松坂屋とホテルアソシア、バスターミナルを併せた新駅ビル、東京駅前でも日本郵政のビルと、駅前大型再開発ビルが目白押しだ。秋田の辺境で明治から郵便局網を守ってきた四代目特定郵便局長の四男、「郵便局のカクちゃん」としては、JR各社のみならず日本郵政のビルも、関係者の方々のご助力を頂き、是非お手伝いさせて頂ければと思う。

◎死ぬほど愛して！？

去年スキーで怪我してから、足に負担がかからないようにゴム底の靴を履き、足腰を鍛えようと自転車も捨て、小平駅まで15分ほどの道のりを歩いているが、久しぶりに水虫再発。足が蒸れないように皮底の靴に替える。右足の指間の小さな発疹が大きくなって破裂、透明な体液が流れ出る。学生運動で7回も臭い飯（実際は、麦飯で美味しくなかったが、臭くもなかった）を食い、7回目で起訴され、足掛け3年中野刑務所に拘置された時、運動や入浴、面会の時に履くゴム草履を仲立ちに？誰かから分けて貰った。前回上井草の土橋皮膚科クリニックで処方して貰った使い残しの薬を探し、取り敢えず塗る。

二月の半ばから目の周りがヒリヒリ、鼻がグズグズする。土橋君の所に寄り早目に花粉症の薬を処方して頂き、近所の小花和薬局で薬を頂く。抗ヒスタミン剤？のアレルギー性疾患治療薬エバステルを8週間分と、酷い時飲むようにとステロイド系？の抗炎症、抗アレルギー薬セレスタミンと胃薬を2週間分貰う。点鼻、点眼薬も貰うが、この2、3年ほとんど使わない。秋田杉の産地で育った●なのに、花粉症で悩まされるようになったのは何時頃からか？色々な療法を試みたが、このところは夜一度エバステルを飲み、夜飲み忘れたり、症状が酷い朝にセレスタミンを飲むだけで、どうにか済んでいる。

30歳近くで学生運動から身を引いた後もまともに働く気になれず、元祖？フリーターとして、アルバイトの傍ら時々本郷の大学図書館で法律を勉強していた。その頃少し若い土橋先生と知り合った。彼は医学部入学を目指していた。小柄な社民党の福島党首も図書館近辺でよく見かけた。図書館では色々な人が勉強していた。中には他大学の人もいた。薬局の小花和さんも薬学部出なので、同じ頃本郷のキャンパスで勉強していた。旦那さんは旭化成の社長で、●と三鷹寮同期の鬼塚君と同じ職場だったという。水虫と杉花粉の取り持つ縁で？思わぬところで、ネットワークが広がる。

一度本通信上で、完治宣言をした●水虫だが、生きていたのだ！辛抱強く、症状がなくなっても薬を塗り続けなければいけませんよ！と、土橋先生には言われていたのだが、薬を使い残すようではいけなかったのだ！足裏を象の皮膚のように硬くヒビ割れさせ、爪まで変形させた親父の大陸産の強力水虫は、日本帝国主義の中国侵略に抗議して？自爆テロを敢行！親父の体と一緒に燃え尽きた。癌で死ぬかも知れないのに、水虫を治す意味があるのか？訝りながら治療した●水虫は、時々忘れた頃に、痒みを伴って存在を主張するだけで、宿主を大して困らせもしないが、心中して一緒に水蒸気となって昇天してくれるほど、愛してくれているのだろうか？自分を薬殺しようとしている宿主を！

◎昼から故郷の地酒、白瀑(シラタキ)飲り、大失敗

11時半、新宿南口マインズタワーのJICAで、打ち合わせ。同行の顧問先の社員とお昼でもとなり、住友三角ビル49階の「呑と」を思い出す。2月に住友不動産の小野寺社長を交え、能代高校の同期会をした時に、田舎から地酒の白瀑(しらたき)を取り寄せ、マスターにも味見して貰う。同じ山本合名の「ど辛」という純米酒を置いているが、こんなに美味しいのもあるんだ！とマスター。早速蔵元と繋ぐ。経過を確認しようと「呑と」へ！

「ど辛」に替え、「ダンチュウ(男子も厨房に入ろう)」という雑誌で取り上げられた「白神山地天然湧水仕込み純米白瀑、瓶燻火入れ、急速冷却、低温瓶貯蔵、秋田県産、酒こまち100%使用」という「白瀑純米」(1カップ680円)を仕入れ、中々好評です！と店長。

デザート、コーヒーまで付いて千円の昼食バイキングで、店長に奨められるまま、揚げたて天婦羅やきんぴら、お新香など、お酒に合う肴を取り直し、枡まで並々と注がれた故郷の地酒を一杯飲む。午前の2件の後は夕方まで打ち合わせがないからと、昼からいい気分。

ところが、超高層から下界に降りると、高校後輩の不動産業、菅原君から電話。紹介先のケンコーポレーションで待っているという。前日事務所を訪ねて来た菅原君の目の前で、三鷹寮後輩の西澤君に電話、空いているからと、1時半のアポを入れて貰ったのを、一杯飲った勢いで忘れていたのだ。慌てて西澤君に電話、先に打ち合わせに入って貰う。

◎日本でもウォータービジネス花開くか？

3月18日、JRの共済会館、弥生会館で、下川住友電装前社長を講師に、恒例の三鷹倶楽部大阪講演会。年一回の大阪講演会だが、倉内 JR 西日本会長（元住友電工社長・会長）初め、出席が30人と、例年より盛り上がり、去年に続き寮歌新墾（にいはり）と藝文で締める。94年、95年入寮の30歳過ぎの後輩も参加すると張り切るが、神戸の久米弁護士は弁護士会の委員会が入り、仏国営化学会社の横田部長はフランス本社から社長、副社長が日本に来たとかで、残念ながらキャンセル。

若い内は自分のスケジュールで動けないが、古狸は自分の日程に合わせ仕事を作る。大阪での講演会に合わせ、電源開発の社員とJR岡山支社へ。京都駅ビルで水道水の25%を井水に切り替え、水道料金を年間3千万円節減したのに続き、岡山の駅ビルとホテルにも井水利用専用水道システム導入の提案をする。帰り、営業先にもお金を落そうと、JRのホテルで鯛や平目の刺身、天ぷら、メバル煮付け、サワラ焼魚、ママカリの南蛮漬、ママカリと筍のバラ寿司と、瀬戸の旬のフルコースで地酒を味わう。

和歌山では学生運動仲間の大橋市長に会う。父親が元和歌山県知事で、毎日新聞社長室長を辞めて「故郷に錦」を飾った、駒場の中国語クラス一年先輩。日本ではこれから公共水道の設備更新期を迎えるが、財政難の自治体は新たな設備投資が出来ず、水道事業の広域化、効率化と民営化が課題になる。世界的にも水不足は深刻。飲める水道水は日米欧の先進国に限られ、水洗トイレを楽しめるのは世界人口の3割に過ぎない。食料自給率4割の日本は、世界中から、食料輸入という形で大量の水を輸入する。穀物や野菜の栽培には水が必要で、牛、豚、鳥の飼育には肉の重さの何倍もの穀物が必要だ。

世界の全ての人間に衛生的な水道水を供給し、快適トイレを楽しんで貰うビジネスチャンスなのだが、仏のスエズ、ベリオ、英のテムズが世界市場の八割を占める。民営化した電源開発がこの分野に進出、水資源が豊富で、優れた水処理技術も持つ日本から、いずれグローバルプレーヤーとして、水問題解決のために世界展開して欲しい。🐼も世界中でお手伝いできると嬉しい。百億円単位のプロジェクトになるが、取り敢えず和歌山市の水道事業の一部をPFIにできぬか？大橋先輩に提案する。

◎大当たり！？酔っ払い運転で骨折？鎧着てスキー場へ！？

怪我の後の、一年振りにソロリと始めたスキーも二度、三度と重なると、段々大胆に、スピードも増す。ゲレンデ脇の蕎麦屋で飲む昼食の酒量も増え、調子に乗って、尾瀬の地酒水芭蕉を相棒と二人で5杯も飲む。土曜の午後の半日で4回も転び、雪の大地に大当たり！肩をしこたま打つ。早目に切り上げ、近くの宝川温泉の混浴大露天風呂に入り帰るが、

翌朝も左肩が痛いので、近くの救急外来へ。レントゲンを撮り、鎖骨にヒビが入ってる「かも」と、三角巾をされる。去年は松葉杖で、今年は三角巾か？地酒を飲み過ぎ、ゲレンデで「酔っ払い運転」したせいだと反省、スキーもゴルフもしばらく無理かと、午後は三角巾して図書館で大人しく勉強する。

月曜朝は痛みも和らぎ、左手でメールを打っても影響がない。多分大丈夫。煩わしい三角巾は外して出勤するが、痛みは残る。翌週金曜日、久しぶりの秋田からの出張帰り、新宿のビクトリアで翌日のスキーのために肩、胸、背中にパットが入ったスノーボード用プロテクターを買う。まるで「鎧」を纏って出陣する戦国武将のようだが、チュニジア・モロッコツアーの7回目の同窓会で、医者の前田さんに話したら、鎖骨の亀裂骨折でも物凄く痛いと言っていたので、打撲だけのようで安心する。

年度末の3月31日、10時に新宿の設計事務所で打合わせだったので、西武新宿線の急行に、小平駅の階段を二段飛びして滑り込む。最後下りる時も間違えて二段降りて着地、背骨にズシンと来るが、二段跳びで階段駆け上れるのは、スキーで鍛えているから？昼の新幹線で久しぶり新潟へ。帰り、駅前の鯛家で顧問先の社員と、一匹丸ごと炊き込んだ豪快な鯛飯で地酒を飲んで帰るが、トンネルを抜けた「雪国」湯沢のスキー場も雪がなく、浦佐のスキー場にはそのカケラもない。春休みは本来シーズン最後の稼ぎ時というのに、温暖化の影響だろうか？天然の水瓶にこんなに雪が少ないと、夏の水不足が心配だ。

雪不足の今冬だが、「千円高速」初日の3月28日、宝台樹スキー場のHPでは朝7時の気温零下2度、積雪百センチとある。シーズン6回目のスキーは、アイスバーンに新雪が積もり、マズマズのコンディション。心配していた関越道の渋滞もない。隣で車を運転するご存知「乗り換え案内」のジョルダン佐藤社長と、クラウドコンピューティングの時代には巨大サーバーとデータセンターを持った者が勝ちだ。熱の塊の巨大コンピューターを水で安く冷やせる所に、後楽園ぐらいの大きさのデータセンターを作ると面白い！奥只見はどうだ！などと、雲を掴むような話をしている間にスキー場に着く。アイスバーンの上に、新雪が敷き固められ、春のスキー場とは思えないコースを気分よく滑り終える。

いつものように300円の鄙びた水上町営温泉で疲れた体を休める。4月7日で閉鎖の宝台樹はこれが最後だけど、もっと滑りたいね！と、連休の頭、4月25、26日、久しぶり奥只見の大湯温泉に一泊、奥只見丸山で滑ることにする。巨大データセンター現地調査のため？十年振りくらいに、コースを外れ、残雪たっぷりの？樹間を自在に滑るのが楽しみだ。標高1260メートルの丸山山頂から360度のパノラマを眺め、雪融け水をたっぷり湛え？翠に輝く眼下の奥只見湖に、飛び込むように滑り降りるのも気分がいい。山頂の雪に突っ込んで冷やした、コンピューターならぬ缶ビールで喉を潤し、湯元館の巨大岩風呂と露天風呂で疲れた体を癒すのもいい。奥只見の事業化調査のための？7回目のスキーで今シーズン終了。余命少なし！よく働き！よく学び！よく体を鍛えよう！

◎「日本の昔と今」・・・東大三鷹クラブ第84回定例懇談会のご案内

第84回三鷹クラブ定例会は、前回、下川さんの紹介をお願いした浜田卓二郎さん（弁護士・昭和36年入寮）を講師に迎え、「日本の昔と今」と題するお話をさせていただきます。

10年近くになりますが、三鷹寮開寮50年を記念する会合を学士会館で開催しました（昭和25年から満50年となる平成12年7月）。その際寮友会誌「雑木林」のバックナンバー

や古い写真類など、かつての三鷹寮に関する資料を集めようと試みました。思いがけず、昭和 37 年入寮の大橋裕二さんから、「三鷹寮白書」と題する A4 版 56 頁にわたる冊子が送られて来ました。浜田卓二郎委員長をはじめ、第 25 期寮委員会の 10 人のメンバーが、それぞれ担当する業務を通じての活動の記録、寮の運営についての熱い思いや、将来への提案などが書き綴られた貴重なレポートでした。かつて私が関係した第 6 期委員会から約 10 年後になりますが、古き良き時代の三鷹寮が生き活きと甦ってまいりました。そして、私たちの大規模的な運営に比べて浜田さんを中心とする寮委員の皆様が、真剣に秩序立てて委員会の職分を果たして来られたことに、心から感じ入りました。

浜田さんは、法学部卒業後、大蔵省に入られ、40 歳代初めに政界に転じ、衆参両院で議員として活躍されました。私が勤務していた労働省の分野でも、卓越した政策判断を發揮し、大変お世話になりました。現在は、弁護士として、諸々の社会問題を正面から取上げ、幅広く活動しておられます。立場は異なっても仕事への情熱と真面目な取り組みは、三鷹寮委員長時代と変わりません。おそらく浜田さんの社会に対する見方、考え方、人生哲学の基礎を形作ったのは三鷹寮の体験であり、その頃の日本の時代背景だったかと考えます。

浜田さん達が入寮した昭和 30 年代は、日本が戦後の低迷を脱して、経済大国への道を歩み始め、将来への明るい展望が開けようとした時期でした。いろいろ不便はあったかも知れませんが、全国から集まった仲間達と共に寮生活を大いにエンジョイすることが可能であった、三鷹寮の黄金時代だったかも知れませんが、三鷹クラブ結成の最大の原動力となったのが、まさに昭和 30 年代半ばに入寮した諸氏であったのも、これらの年代の人々の三鷹寮生活への思い入れの強さの表れではないかと考えます。

今、日本の政治、社会、そして産業経済、いずれについても閉塞感が支配的で、先行きにも暗いムードが漂っています。過去との比較で現状を論ずると共に、何より展望ある未来に結びつける議論が、参会者と共に繰り広げられることを望んでおります。(平賀 記)

日時：平成 21 年 5 月 18 日 (月) 18 時 30 分～21 時

場所：学士会館本館 203 号室 (千代田区神田錦町 3-28 TEL 03-3292-5931)

会費：5000 円 (会場費、夕食代・ビール代、通信費など込み)

定員：70 名 (先着順：定員を超えない限り特に連絡は致しません)

申込：Fax 03-5689-819 電話 03-5689-8182 Email:tfn-hoshiba@blue.ocn.ne.jp

◎第 5 回東大三鷹寮ゴルフコンペのご案内

干場先輩から千葉でもやりたいなと声をかけられまして、早速、下記の通り企画いたしました。皆様こそってご参集いただければ幸甚です。(45 年入寮櫻井昭二)

1. 場所：長太郎カントリークラブ <http://www.pacificgolf.co.jp/chotaro/>

千葉県成田市奈土 1 4 1 3-1 TEL 0 4 7 6-7 3-7 7 1 1

2. 期日：5 月 30 日(日) 8 時 15 分 キャディーマスター室前に集合

3. 費用：セルフの乗用カート利用で 18,150 円 (昼食とパーティー料理込み)

別途、懇親会のドリンク代と賞品費用として 1000 円を予定しています。

4. コースまでのご案内

①車の方・・・東関東自動車道大栄インターの料金所を出てすぐ分岐。左方向 (成田方面)

を選択し国道 51 号線に合流。2 つ目の信号（伊能）右折。道なりに 4 k m ほどで左に神崎カントリー倶楽部を見た直後、道路右側に長太郎 CC の看板。ここを右折。

- ②電車の方・・・京成成田駅下車、または JR 成田駅下車。7 時 30 分のクラブバスをご利用ください。ゴルフ場まで 30 分。クラブバスは JR 成田駅東側の駅前広場内、右前方から。京成成田駅からも歩いて 3 分。京成電鉄のスカイライナーの早朝利用は出来ず、JR は総武線快速の利用となります。従って埼玉や横浜方面の方は申し訳ありませんが電車利用は厳しいようです。

東京都区内の方であれば、東京駅 6 時 2 分発の総武線快速（千葉で乗換え）で 7 時 16 分成田着があります。尚、クラブバスは完全予約制ですので、利用される方は、申込の際、必ず申出てください。

5. 申込：干場事務所（(有) TF ネットワーク）まで

◎東大三鷹寮 40 年・41 年合同会(第 12 回)のご案内

昨年 6 月 6 日に開かれた第 11 回の 40 年・41 年合同会は 40 年 35 名・41 年 7 名計 42 名が参加、大いに盛り上がりましたが、早 10 ヶ月を経過しました。そこで、旧交を暖めるべく今回も 40 年会と 41 年会を合同で下記のとおり行うことにしました。奮ってご参加下さい。場所は例年と同じ、40 年の小林節社長のパレスホテルの出店です。

なお、昨年から試みに夫人にも参加を呼びかけましたら、40 年 6 名・41 年 3 名が参加され、好評でしたので、今年も同じく夫人をお誘いください。

日々のニュースを見ていると政治も経済も社会もどうなっていくのだろうと予測が付きません。先人の叡智では乗り切れないのでしょうか。それでも個人の生活だけは毎日当たり前のように進んでいきます。日々やることは多いし、ストレスも溜まるし、困ったものです。皆さんの近況を聞くのが楽しみです。

初めて参加される方もお気軽に足を運んでみて下さい。（遠藤）

毎年花粉症の酷い季節に、お前の分を書き足せ!と遠藤先輩からメールが送られてきます。体調の悪さを口実に?つい送り返すのが遅くなるのですが、今年は早目に薬を飲み始めたからか、不快な目のかゆみと鼻水、鼻づまりは殆ど気になりません。全体の参加者が増える中、5:1 にまで膨らんでしまった、2:1 という母数の差以上の、もう一つ気になる 40 年と 41 年の参加数の差も、今年は縮まるのではないかと期待しております。楽しい交流の輪に、皆さん奮ってご参加下さい！（干場）

日 時 6 月 5 日（金）午後 6 時

場 所 トップ オブ ザ スクエア 宴（千代田区大手町 1-5-1 大手町ファーストスクエア 23 階、電話 03-3217-0779）

会 費 1 万円（+連絡費 500 円） 但し、夫人は半額 5000 円。

呼掛人 40 年 宮原耕治・遠藤昭 41 年 小林政秀・森下尚治・干場革治

◎平日の追コンは大変！タニマチの気分！？

3 月の半ば、平日の夕方、寮で二年生の追い出しコンパがあるという。仕事帰りなので、吉祥寺で寿司を買って差入れようとも思うが、吉祥寺では夕方の忙しい時に大量に握って

貰うのも、タクシーを探すのも大変。朝、車で出て花小金井の駅前図書館へ向かう。ところが駐車場が満杯で、多少気が引けるが、ゆったり目の障害者用パーキング二つの間に置き、夕方花小金井駅ビルの魚力で寿司を握ってもらい、車で運ぶ。

鮎の差し入れを寮生に喜んで貰って嬉しいのだが、メインのつまみはこれだけで、飲み物の他には乾き物しかない。資金不足なのか？準備不足なのか？OB会の差し入れを当てにしているのか？少し気になる。それでもこれまで寮委員会を引っ張って来た二年生の鈴木君が、退寮後も時々同期会をやってネットワークを作っていくと決意表明。大変素敵なおことで、その時は僕も呼んで貰えると嬉しい。

4月11日、今度は土曜日の夕方、寮の新入生歓迎会に呼ばれる。三百人近くの寮生で盛会。いつもより大目に寿司桶を持参する。追いコンと違って大学からも鮎の差し入れがあり、寮生もお好み焼きや混ぜご飯等を手作りしているのだが、養魚場に餌を撒く感じで、あっという間になくなる。今年はAからF棟の各ラウンジのミーティングにも顔を出す。

いつも終わってから幹事を慰労するために、ポケットマネーで近くのファミレス華屋と平衛で打上げをするのだが、各棟でまめに営業？オルグ？したからか、いつもの四倍の80人も集まり、慌ててセブンイレブンのATMに走る。11時過ぎから1時頃まで盛り上がり、それでも12万円少しで足りてほっとする。代行を呼び車で帰るが、プチ「タニマチ」の気分。これを機に留学生を含めた寮生が親睦を深め、ネットワークを拡げ、ワールドワイドに、世のため、人のため役立つ人間に育ってくれれば嬉しい。

◎青島ビールを友に、孔子と泰山の山東へ！

「放浪の病」勃発、暇を盗み4月半ば山東ツアーに参加する。還暦を過ぎ、そろそろ冥府の勉強に？と、孔子の生まれ故郷曲阜へ。70万坪の孔林には孔子一族10万基の墳墓があり、子貢手植えの楷や、顔回の墓守所等があり、高弟の名前が懐かしい。好学の少年も余命幾許かの老翁となり、ただ諸国を走り回るのみ、なるを思う。

時の権力に受け入れられず、孔子は諸国流浪の末、故郷で数多の弟子と学究に励む。彼の死後一族は歴代皇帝の尊崇を集め、広大な領地を所有、王宮にも比肩する孔府に住み、広大な孔子廟に孔子を祭る。「賢なるかな回や！陋巷にあり」と、時流におもねらずみすばらしい家に住み、粗食に甘んじ、学問に励む顔回を讃えた孔子の望むところであろうか？文化大革命の「批林批孔運動」で命脈尽きるかに見えた儒教の聖地に、珍しく雨が降る。古来この地では「春の雨は油より貴い」と。

雨の中を中国有数の名山、泰山へ。「峨々として泰山の如し」、「斯界の泰斗（泰山と北斗星）」と賛辞に常用され、歴代の皇帝も足を運ぶ。千5百メートルと高くはないが、蛇紋岩の険しい岩山が連なり、深山幽谷を形作る。バスで登る山道の両脇には白や赤、ピンクの桃が綺麗に咲く。雪柳の白、山吹？の黄、若葉の緑も、土の少ない岩場で踏ん張る。中腹でロープウェイに乗換える。雨脚が強くなり、窓からは何も見えない。

登頂を諦め、レストランで青島ビールを飲むことにする。青島15元、泰山ビール30元で、青島を頼むが40元請求される。15元は小瓶だとメニューを指される。下界のホテルでも青島大瓶が15元だったのに。一袋20元のピーナッツを友に、チビリチビリ。登頂組は何も見えなかったと疲れた様子。泰山は時には皇帝にも厳しく臨んだのか？

飲み食いすればトイレに行きたくなる。一昨年 of 九寨溝の新式トイレには工夫の跡がみ

られたが、泰山には進歩の跡がなく、臭くて汚い、水も出ない。初めて中国を統一した秦の始皇帝が、天下一の霊山に登ることで天下統一を世に知らせめたのが始まりというが、歴代皇帝はどのようにして用を足したのか？目覚しい経済発展を遂げる中国だが、高度成長がトイレに及ばないとは！中国人にとってトイレは外部不経済なのか？

◎終わりに・・・秋田の故郷にてぼどん！？

町民、国民には大迷惑でしたが、今回の「テポドン」騒動で🐻の故郷、八峰町の名前も少し売れました。今の体制が続く限り、時々あるのでしょうか？困ったものです。再見！